



# 幼稚園便り

・・・ 5 月 号 ・・・

令和 6 年 4 月 3 0 日  
中央区立月島第二幼稚園  
園長 竹谷 直史

## 新緑の季節に子どもたちを重ねて

園長 竹谷 直史

子どもたちの進級・入園をきれいな桜吹雪がお祝いしてくれてから一ヶ月、本校園の多くの木々に新緑が芽吹き、風薫る季節となりました。やわらかく透き通った緑の葉が、目に鮮やかに映ります。

さて、五月の風物詩と言え、端午の節句です。幼稚園ではこの時期を捉える形で、各学年の発達を踏まえたこいのぼりの製作活動を行っています。今年度になってから、日々の教育活動の中で各種製作活動に取り組んではいますが、大きな一つのテーマの下で取り組むのは初めてということになります。年少組・年中組は個人での製作を、年長組は友達と合同で製作をしていきます。

子どもたちの作品を見るにつけ、人それぞれの見方があろうかと思えます。私自身、子どもの作品に関わるようになってから随分な年数が経過しているところですが、その中で常に心掛けているのが、「目に見えない部分」に思いを馳せて見るようにする、ということです。

子どもたちが製作という一つの形にしていくまでには、様々な思いがあり、プロセスがあります。新たな技法を知りながら初めて取り組めたことの喜びを味わう時もあるでしょう。なかなか形にすることができないもどかしさを味わう時もあるでしょう。紆余曲折を経ながら形にできたことを心から喜べるよう、その尊さに思いを巡らせていきたいと子どもたちから教えられる毎日です。

作品は、目に見える一つの形になっているだけに、表層面に意識が向きやすくなる傾向があります。その意識が強くなると、子どもの真意から距離が生じるようになり、所謂「大人目線」で「出来映え」だけを評価する厳しいまなざしへと変容するようにも感じます。

今の若葉のみずみずしさが、子どもたちの経験に重なります。この若葉が今後色濃く大きく豊かに生長（成長）していけるよう、大樹のような幼稚園を目指して教育活動を展開させてまいります。

保護者・地域の皆様におかれましても、これまで同様、太陽のようなあたたかなまなざしで子どもたちを包んでいただければ幸いに存じます。今月も何卒よろしくお願い申し上げます。

## < 5 月の目標 >

年少組	・幼稚園での生活の仕方が分かり、自分のしたい遊びを見付けたり、教師のすることに興味をもったりして遊ぶ。
年中組	・自分のしたい遊びを繰り返したり、気の合う友達と一緒に遊んだりすることを楽しむ。 ・いろいろな遊具で、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
年長組	・自分の思いを伝えたり、友達の思いに気付いたりしながら遊ぶ。 ・学級や学年の友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
安全目標	・親子でしっかり手をつないで歩き、安全に登降園する。
生活目標	・自分の持ち物は自分で持ち、家では決まった場所に自分で片付ける。

